

今月のポイント  
This month's topic

新しく始まる  
学校・学年は  
英語を学ぶ  
楽しさを知るチャンス!



Let's have a Great new school year  
learning English.

# Let's ジョシュの英語 Study English From Josh

Assistant Language Teacher Josh Ullery  
外国語指導助手【ALT】アレリー ジョシュ

## 英語を楽しく学ぼう

On April 8th, the new first year students start at Toyokoro junior high school and Toyokoro Elementary School. I want to wish all of you the best of luck during the new school year.

1st grade junior high school students remember that English is fun and you will have a great time learning English in junior high school.  
1st grade elementary school students we will have a wonderful time learning English together.

4月8日は豊頃中学校と豊頃小学校の入学式ですね。今年新1年生となった皆さんが、今学期、素晴らしい時間が過ごせるように願っています。

新中学1年生の皆さんは、英語の楽しさを思い出していることでしょうか。これからの中学校生活も楽しく英語を学べるはずですよ。そして新小学1年生の皆さん、一緒に楽しく英語を学んでいきましょう。よろしくお祈りします。



## 『報徳のおしえ』 とともに

### 全国報徳サミット (茨城県筑西市大会) 一宮尊徳7代目子孫中桐万里子氏基調講演より (その2)

前回は広報とよころ2月号に掲載



中桐万里子氏 講演

令和元年度 第25回全国報徳サミットが、令和元年11月8日に、茨城県筑西市で開催されました。中桐万里子氏が「教育者・金次郎」の行動哲学「下館藩(現・筑西市)や村々のできごとを軸として」と題して基調講演を行った続きを紹介します。金次郎には、あこがれの指導者がいました。村のリーダーたちに金次郎は、自分自身あこがれのリーダー像についてよく話していたというのです。その年はまさに村々が冷え冷えとし、飢餓に苦しむ、様々な困難を抱え、民は絶望し、未来が見えなくなっていた。しかし、ある一人がこの寒さと飢えを一瞬でなくすことに成功したのだと、一体何をやったのでしょうか。答えは、ある天皇の行いでした。金次郎は言います。「この天皇は民に食糧や衣類を与えたのではなく、自らの持つ食糧と衣類を全て捨てたのだ」というのです。そして天皇でありながら民と同じ寒さ、飢え、そのものに身を置いたのだと。そのことは

本心に民たちを感動させた。天皇という非常に偉い方が自分たちのために下りてきた。全てを捨てた、自分たちと共にあるうとした、そのことが民の心を打ち、感動を呼び、喜びを生み、そして皆の心に火をつける。民は思う、この人にこんな苦しみを味あわせてはいけない。自分たちが立ち上がって、もう一度村を復活させよう。そうやって村は全く衣類も食糧も与えられないことなく立ち上がりつつあった。リーダーたちがすること、それは様々なことに向き合い、民と共にあるうとすることではないだろうか、というわけだ。指導者やリーダー、今や教育界では「褒め育て」なんていうことが流行っています。私は個人的にはナンセンスだと思っています。私にリーダーたちが向き合おうのは、決してそのような光の部分ではなく、困っていること、苦しんでいること、辛いこと、悲しいこと、そんなものに寄り添おうとする姿勢なのではないか。自分にとって、大変なことがあったり苦しんだりすることに向き合うには力が必要です。だからこそ、トップのリーダーの力が必要なのではないかと。自分と

共についてくれるというとき、私たちは本当に幸福を感じたり、希望を持ったり、勇気を持ったり、自分の根っこがしっかりと火がついていくのを感じたり、そんなふうな心根に火がついていくのではないかなと思うのです。先ほど小学生の紙芝居の発表で表彰制度という話について話してくれました。実は金次郎にとつての表彰制度というのは、決して誰かを褒め称えるためのものではないと思います。そんなゆとりがある時代ではありません。表彰されるような人たちは何をしていた人たちなのかといえば、村の最も困難なものに向き合ったこと、その村に力を尽くしていた人たちが懸命に畑を耕す、田んぼを耕す、荒れ地を開墾していく、村の収穫高を大きくしていく、決して金持ちになろうとして働いていたわけではないと思います。その人たちは村の苦しみに向き合っていた。そのため力を使い果たした。だからこそ金次郎は評価ではなく、感謝をして感動を表した。その者に共にいてくれる仲間への感謝状、感動へのお返しだったというわけだ。そのように金次郎が語る中で、下館藩士たちもまた大いに火をつけました。このまち、自分たちのふるさとをいかに愛していくか。そして、自分たちに何ができるか。多くの家老たちは給与を辞退していきまます。金次郎に「あるはずもない給与をどうとすることなんて浅ましい」と、そんなひどいことを言われながらも、確かにそうだと真つ直ぐにその言葉を受けました。ないはずの給与を、あるはずもない実りを期待するのではなく、今苦しんでいるただ中にあるそのふるさとに仲間たちに向き合っていく、ふるさとに向き合っていく、そのことによって、家老たちが、あるいは武士たちが次々に給与を辞退し、お金を、時間、力を、自分の人生をこのまちにかけ



筑西市 尊徳廻村之像

## 山菜採りによる事故の防止

### ～ 山菜採りを行うときの注意事項 ～

- 家族に行き先と帰宅時間を知らせておく。
- 単独での入山を避ける。
- 目立つ色の服を着用する。
- 携帯電話、非常食、飲料水、防寒着、熊鈴、笛等を携帯する。
- 山中で迷ったときは、慌てずに落ち着いて行動する。

### ～ ヒグマと遭遇しないための注意点 ～

- 事前にヒグマ出没情報を確認する。
- ヒグマの出没を知らせる看板等がある場所には入らない。
- 複数人で入山し、山中では単独行動しない。
- 熊鈴や声を出して、ヒグマに人間の存在を知らせる。
- 早朝、夕方および悪天候時の入山を避ける。

## 北海道警察官募集中

～ここからつながる、未来のために～

採用予定人員 210名程度  
受付期間 4月8日(水)まで  
第一次試験日 5月16日(土)  
詳しくは、お近くの駐在所までご連絡ください。

駐在だより  
**はるにれ**  
～みんなて築こう 安全で安心な大地～  
池田警察署 572-0110  
茂岩駐在所 574-2013  
豊頃駐在所 574-2151  
大津駐在所 575-2002  
http://www.ikedasyo.police.pref.hokkaido.jp

## 新入学・新入園期の交通事故防止

- お子さんへ
- 道路を渡ったり歩道を歩くときは、ルールを守り、新入生のお手本になろう。
  - 道路を渡る時は信号が青色になってもあわてないで、車が止まるのを確かめてから渡り始めましょう。
  - 止まっている車の前や後ろから道路を渡るのは危険なので、絶対にやめましょう。
  - 道路で遊ばないようにしましょう。
- 運転者の皆さんへ
- 子どもたちを見かけたら、必ずアクセルをゆるめ、学校や公園の近くを通るときは、特に慎重な運転を心がけましょう。
- 保護者の皆さんへ
- 交通ルールは事故を起こしたり被害に遭わないための大切な決まりです。日常生活のなかでお手本を示しながらしっかり教えてあげましょう。

広報とよころ  
▼ジョシュの英語▼駐在だより

役場だより

広報とよころ  
▼「報徳のおしえ」とともに

役場だより